

「科学雑誌で学ぶ日本語」作文練習 15

木下大輔

2021年12月29日

1 第一問

「感覚器官の衰えは長い年月に少しずつ生じるため、本人も周囲も気づかないうちに進行していることが少なくないのです」という文がありました。「ずつ」を含む文を作りなさい。

2 第二問

「高齢者の特徴として、明暗に対する順応性が低下することがわかっており、とりわけ暗さに目がなれるのが遅くなるとされています。」という文がありました。「とりわけ」を含む文を作りなさい。

3 第三問

「このため他者とのコミュニケーションをさけるようになりがちで、うつ病や認知症などのリスクが高くなるおそれもある」という文がありました。「がち」を含む文を作りなさい。

4 第四問

「とくに塩味は感じにくくなりやすいことが知られており、気づかないうちに食事を塩辛くしすぎてしまうおそれがある。」という文がありました。「動詞 + 過ぎる」を含む文を作りなさい。

5 第五問

「人間の眼球は、近くを見たり遠くを見たりするために、そのつど遠近のピントを合わせる機能がある。」という文がありました。「その都度」を含む文を作りなさい。